

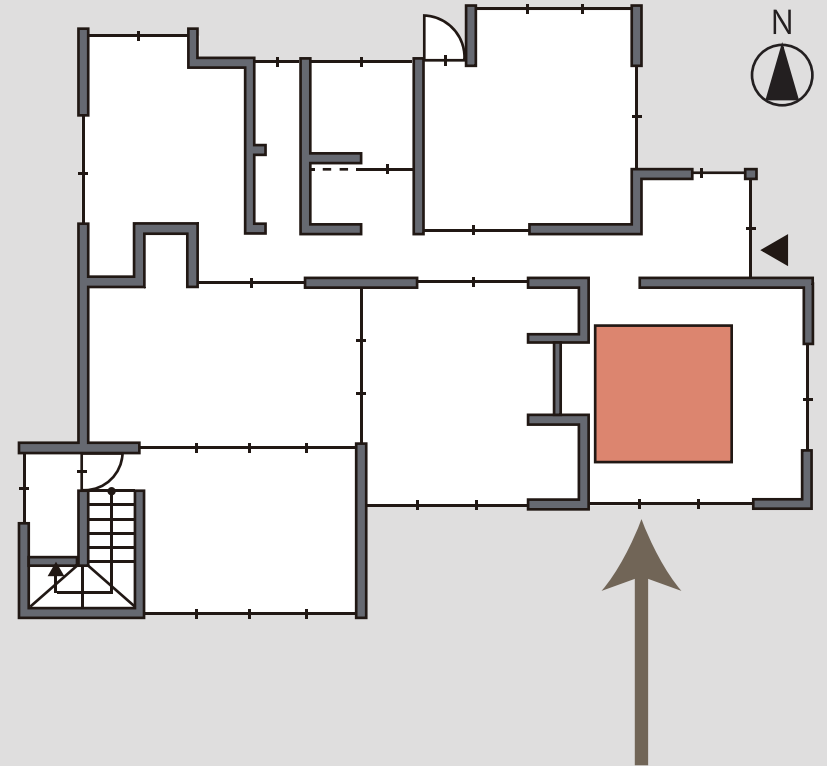
リフォーム前→リフォーム後

「建物全体の補強ではなく、“命を守る耐震シェルター”を選んだ理由」

築40年以上の木造2階建住宅。耐震診断の結果、倒壊の危険性が高いと判定されました。施主様は、住宅全体の耐震補強ではなく、費用・工期・生活への影響を総合的に考慮し、1階居室内に耐震シェルターを設置するという選択をされました。

設置したのは、木造軸組構造による室内型耐震シェルター。シェルターを設置するための床組補強を行い、8畳の茶の間に4.5畳タイプのシェルターを設置。限られたスペースに収まるサイズで、居住しながら60日間で施工が完了。県内初の事例として自治体の耐震改修補助制度も活用し、経済的負担を抑えながら、地震時に命を守る空間を確保しました。

——「建物が倒壊しても、ここだけは安全である」——
そんな安心を住まいの中に実現した、命を守るためのリフォームです。



まずは、耐震診断



いよいよシェルター設置



シェルターを設置するための床組補強



命を守る耐震シェルター完成



安心して過ごせます

応募者・設計者	施工者	築年数	構造	建方形式	竣工	工事期間	工事費	所在地	リフォーム内容
野津建築設計事務所	徳留建設 代表者 徳留 聖也	40年	木造	戸建	2024年10月	60日間	—	鹿屋市	耐震シェルター設置（4.5帖タイプ）